

# 静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2010年1月7日

## 「平成21年10～12月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－小幅ながら2四半期連続で改善。来期は足踏み。－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成21年10～12月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

### 1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成21年12月1～7日

回収状況 回収数 615 社（回収率 96.7%）

### 2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

#### ① 平成21年10～12月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－68.6となった。9月の前回調査（－71.5）から2.9ポイント改善。小幅ながら2四半期連続で改善となった。前期の12月予想値（－68.7）とほぼ同じ。この1年で急激に落ち込んだ製造業は改善しているが、卸売業、小売業は未だ悪化している。

#### ② 平成22年1～3月期の見通しについて

平成22年1～3月期にかけて、業況DIは1.1ポイント悪化の－69.7となる。売上額DIも10.9ポイント悪化し－42.2となる。回復ペースに勢いがなく、2番底懸念が残っている。

#### ③ 主な業種別の動向

業種	業況DI(前期→当期)	動向
二輪部品製造(57社)	－96.4→－87.7	業況DIは－87.7と極めて低い水準ながら、8.7ポイント改善。自動車部品に比べ、業況改善が遅れている。
自動車部品製造(70社)	－71.1→－63.8	業況判断指数は7.3ポイント改善し－63.8となった。改善は3四半期連続。
機械部品製造(65社)	－86.2→－80.0	業況判断指数は－80.0。極めて低い水準であるが2四半期連続で緩やかに回復している。
楽器部品製造(18社)	－89.4→－88.9	業況DIは－88.9で過去最低水準となった前期からの改善幅は0.5ポイントにとどまった。
繊維製造(26社)	－77.7→－65.4	業況DIは12.3ポイント改善して－65.4となった。売上額・受注残・収益DIも小幅ながら改善した。
卸売業(87社)	－69.0→－74.7	主要判断指数は軒並み悪化。平成22年1～3月期にかけて主要判断指数はさらに悪化を予想。
小売業(68社)	－47.0→－52.9	業況DIは－52.9と前期比5.9ポイント悪化したが、全業種中最も高い水準。
建設業(74社)	－64.3→－61.6	業況DIは2.7ポイント改善して－61.6。2四半期連続の改善となるも改善幅は小幅。
不動産業(37社)	－68.5→－59.5	業況DIは前回調査の12月予想値（－74.2）からは大幅に上方修正も改善は一時的なものと思われる。
飲食・宿泊・レジャー等(15社)	－53.2→－46.7	昨年11月まで開催されたモザイカルチャー特需で宿泊業の業況が一時的に改善した。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野 TEL 053-452-1510